

伝統を伝えていくために 「太々神楽」



上郷神社太々神楽保存会の皆さん

4月15日、白鷺神社において雷電宮祭があり、太々神楽の奉納がありました。太々神楽は神社のお祭りの時に奉納されている舞で、日本神話にもとづいて演じられています。町内で演じられている神楽は、約200年の伝統を持ち、町の文化財にも指定されています。今回は、そのような伝統ある太々神楽を後生に伝えるべく活動している上郷神社太々神楽保存会の皆さんにお話を伺いました。

現在の会員数は12名、今回は8名の方が神楽殿にあげり太々神楽を演じました。神楽保存会では、春に白



かすがのおおかみ
「春日大神」の舞



たちからおのおみこと
「手力男命」の舞

きたい。」と話をしてくれました。

今月の輝ける星

鷺神社、秋に上郷神社で神楽を奉納しています。また、最近では、下野市の神社でも奉納を行っているとのこと。神楽保存会は、メンバーの高齢化や、ここ数年若い担い手が入会してないことなどから、担い手不足の問題が深刻化しています。そのようななか、神楽を若い人たちにも知ってもらおうと、昨年2月には本郷小学校、11月には本郷中学校で神楽の舞を見てもらうなど、普及活動も行っています。

会員の野澤幸宝さんは、「昔は娯楽も少なく、神社で行われる祭りは、人々の大きな楽しみでした。今はいろいろな娯楽があります。幅広い世代に神楽を知ってもらい、1人でも多く興味を持ってもらって、伝統ある神楽を守り伝えてい

はじまります！総合型地域スポーツクラブ！

上三川町総合型地域スポーツクラブ運営委員会にて全員一致でクラブの名前が『いきいきクラブ上三川』と決定しました。

これから長いお付き合いをよろしくお願いいたします。

●3つの多様性

総合型クラブとは、3つの多様性を持っています。

- 1つは、種目の多様性
- 2つは、世代や年齢の多様性
- 3つは、技術レベルの多様性

総合型地域スポーツクラブは、こうした多様性を持ち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民個人々のニーズに応じた活動が質の高い指導者のもとに行えるスポーツクラブです。



ソフトテニス教室の様子



ストレッチ&メイクボディの様子

●スポーツクラブの特徴とは…

単一のスポーツ種目だけでなく、複数の種目が用意されています。障がい者や子どもたち、そして、お年寄りまで。競技レベルも、初心者からトップレベルの競技者まで、また、楽しみ志向の人から競技志向の人まで、地域住民の皆さんの誰もが集い、それぞれが年齢、興味、関心、体力、技術、技能レベルなどに応じて活動できるスポーツ活動だけでなく、文化活動も準備していきます。

▼問い合わせ先=体育センター

☎7328